令和元年度

福岡県 久留米市（官民連携による「森林経営管理制度」の推進）

▶久留米市では、森林所有者の大半が小規模所有者で森林経営が成り立たない状況が多く見受けられます。そのため、「福岡県荒廃森林整備事業」及び「森林経営管理制度」を活用した森林整備を実施する方針です。

▶令和元年度は、以下の取り組みにより森林資源の把握と「森林経営管理制度」を推進するため、システム構築の検討を行いました。

- 1,000haを対象に既存データを活用し、森林資源の把握と事前意向調査の優先順位を決定しました。
- 一部地域で事前意向調査を行い、課題の整理と実施に向けた対応策を検討しました。
- 最も工夫したのは、久留米市の「森林経営管理制度」を推進するスキームを構築し、久留米市、福岡県朝倉農林事務所、浮羽森林組合、専門コンサル会社（2社）のチームで協議を行い、それぞれの専門性を活かした課題の整理、解決策の検討を行いました。

□ 事業内容

◆ 森林経営管理制度推進の検討（森林資源把握、事前意向調査推進）

- 浮羽森林組合が提案した地区（1,000ha）をモデル地区として、既存航空レーザ、航空写真等により森林資源量の把握、優先順位の検討を行いました。また、一部地域で事前意向調査を実施し、課題の整理と今後の進め方を検討しました。

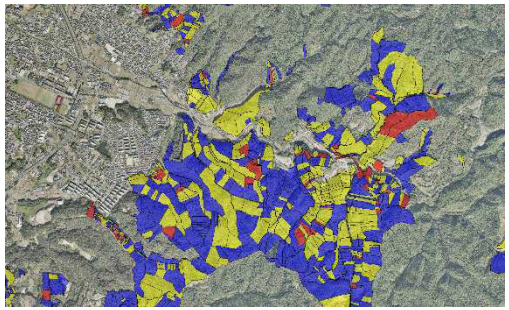
【事　業　費】8,997千円（全額譲与税）

【実　　績】森林経営管理計画実施年次計画作成、事前意向調査の実施
久留米市の森林経営管理制度を推進するスキーム構築

＊令和2年度は、同じスキームで実施中。残り地区の優先順位の検討、670件の事前意向調査、森林経営管理制度の具体的な推進（経営管理権集積計画の実施）、意欲と能力がある経営者に対するサウンディング調査（参入する条件整備のヒアリング）を実施予定



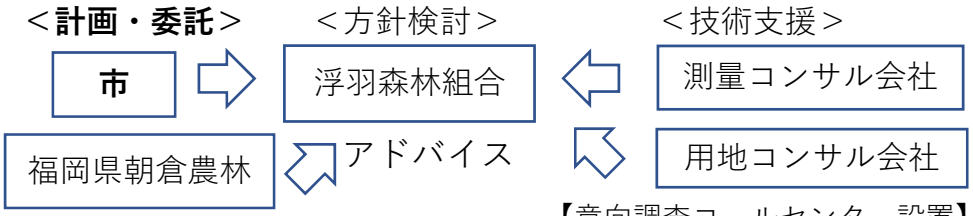
（5者協議）



（意向調査の進捗管理）

□ 事業スキーム

【久留米市森林経営管理制度推進スキーム】



【意向調査コールセンター設置】

□ 工夫・留意した点

- 各団体が専門性を活かした業務を実施し、課題を解決
- 市の担当者が異動しても事業を推進できるスキームの作成
- 集積計画、森林経営計画、県税事業の適用に関する基準の検討
- コールセンターを設置し、住民サービスの向上
- 県の専門性と情報を活かした的確なアドバイス
- コンサル会社から全国の事例紹介と専門性を活かした技術支援

□ 基礎データ

① 令和元年度譲与額	13,421千円
② 私有林人工林面積（※１）	1,390ha
③ 林野率（※２）	15.8％
④ 人口（※３）	304,552人
⑤ 林業就業者数（※４）	7人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３，４：「H27年国勢調査」より

R1 森林環境譲与税に関する決算状況一覧（譲与税額 13,421千円）　久留米市

事業名	事業総額（千円）				事業内容	実 績	効 果（総括）
		うち森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
森林経営管理制度意向調査推進事業	8,997	8,997	0	0	森林の現況把握、森林経営管理法に基づく意向調査の優先順位等を検討し、実施計画を作成。「森林経営管理制度」推進のためのシステム構築を検討するとともに、制度推進のためのスキームを構築。	・制度推進のスキーム構築 ・森林経営計画実施計画作成 ・森林資源量解析：1,000ha ・意向調査の実施：31件 ・意向調査コールセンター設置	【森林環境譲与税の活用】 ・森林環境譲与税を財源とすることによって、市内の森林の資源量等を把握することが可能となった。 ・また、「森林経営管理制度」を計画的に推進するためのスキームを構築することができた。 ・森林つつじ公園の整備によって、さらに魅力を向上させ、市民がより森林を親しめる環境づくりを整備することができた。 【久留米市の森林整備】 ・久留米市の森林は、林業が取り巻く環境が厳しい中、森林所有者が自らの森林に目を向けないことが大きな課題となっている。 ・また、市内の森林所有者の大半が小規模所有者で、木材価格の低迷や人件費の高騰により、手入れをしたくてもできない状況にある。 ・そのため、これまで主に「県の森林環境税」を活用して整備を行ってきた。 ・今後は、森林環境譲与税を最大限活用して、森林の現況を把握するとともに、「森林経営管理制度」も併用して、市内の森林整備を行っていきたい。
森林つつじ公園整備事業	9,768	4,424	0	5,344	久留米市の財産である耳納山系の森林を活用し、森林の持つ保健・休養の場としての機能を最大限発揮させるために、森林つつじ公園を整備する。	・森林の整備 ・木造階段の整備 ・散策路の整備	
合　計	**18,765**	**13,421**	**0**	**5,344**			

令和２年度

福岡県 久留米市（官民連携による「森林経営管理制度」の推進）

▶久留米市では、「森林経営管理制度」を活用した森林整備を推進するため、令和元年度から「森林経営管理制度推進業務」に取り組んでいます。
効率的に業務を推進するため、久留米市、福岡県朝倉農林事務所、浮羽森林組合、専門コンサル会社（2社）が、それぞれの　専門性を活かし、協働で業務に取り組んでいます。

▶令和2年度は、森林資源の分析や森林所有者への意向調査及び森林整備を推進するための以下の業務に取り組みました。

- 意向調査の優先順位検討（樹種・傾斜区分図作成、林小班の路網からの斜距離の算出、管理されている森林・管理されていない森林の分類、林業適地・不適地の定義と分類、経営管理が行われていない森林の抽出等）
- 意向調査等（意向調査・督促状の送付、意向調査結果の集計・分析、所有者不明森林の調査）
- 森林経営管理制度の推進（集積計画（案）の作成、「森林カルテ」及び「久留米市森林経営管理制度推進フロー」作成等）

□　事業内容

◆ 森林経営管理制度の推進（森林資源の分析、意向調査の実施等）

- 国土交通省所管の航空レーザ測量データや航空写真等を活用し、樹種・　傾斜区分図の作成を行うとともに、意向調査並びに調査結果の集計・分析を行いました。
- 意向調査後の森林整備を推進するため、森林の現状の数値化・定量化及び「森林カルテ」作成を行いました。

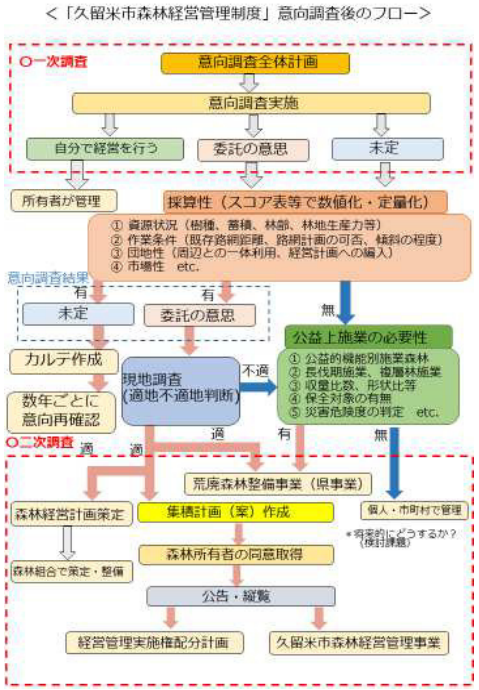
【事　業　費】
16,962千円（全額譲与税）

【実　　績】
樹種・傾斜区分図等の作成　（2,300ha）
意向調査の実施等（670件）
経営管理権集積計画の検討（2件）
林業経営体のサウンディング調査



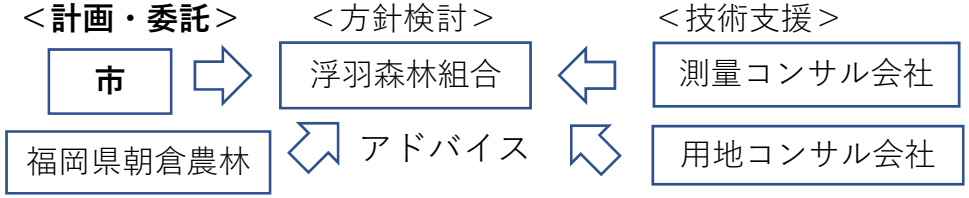
（現地協議）

＜「久留米市森林経営管理制度」意向調査後のフロー＞



□　事業推進スキーム

【久留米市森林経営管理制度推進スキーム】



【意向調査コールセンター設置】

□　工夫・留意した点

- 航空レーザ測量データを自前で持ち合わせない中、国土交通省所管のデータを借用し、樹種・傾斜区分図の作成を行った。
- 森林整備の方針を客観的に判断できるよう森林の現状を数値化・定量化した「森林カルテ」作成の検討を行った。
- 意向調査後、森林整備の方針を効率的に決定できるよう「久留米市森林経営管理制度推進フロー」を作成した。

□　基礎データ

① 令和２年度譲与額	28,520千円
② 私有林人工林面積（※１）	1,390ha
③ 林野率（※２）	15.8%
④ 人口（※３）	304,552人
⑤ 林業就業者数（※４）	7人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３，４：「H27年国勢調査」より

R2 森林環境譲与税に関する決算状況一覧（譲与税額 28,520千円）　久留米市

事業名	事業総額（千円）	うち森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）	事業内容	実 績	効 果（総括）
森林経営管理制度意向調査推進事業	16,962	16,962	0	0	森林経営管理法に基づく意向調査の準備作業及び意向調査を浮羽森林組合に委託して実施。また、林業経営に適した森林、適さない森林の定義づけを行い、森林整備の方針や集積計画の手法を検討した。	・経営管理が行われていない森林の抽出：2,300ha ・林業に適した森林、適さない森林の分類：2,300ha ・意向調査の実施：670件 ・意向調査コールセンター設置 ・森林整備方針の検討等	【ワンフレーズ】 ・意向調査を実施することにより、これまで把握ができなかった森林所有者の森林整備の意向を知ることができた。 ・今後、森林所有者の意向及び森林の現況に応じた森林整備を推進する。 ・森林つつじ公園や兜山を整備し、市民がより森林を親しめる環境づくりを創造した。 【詳細】 ・令和元年度は意向調査を推進するために、意向調査の準備作業や意向調査をモデル的に実施するなど、手法の検討を行った。 ・令和2年度は意向調査の準備が終了した森林全体の意向調査を実施し、その結果を分析するとともに、所有者不明森林の追跡調査を実施。 ・意向調査準備では「経営管理が行われていない森林」や「林業経営に適した森林、適さない森林」の定義づけを実施 ・森林資源解析のデータを基に、「経営管理が行われていない森林」、「林業に適した森林」、「適さない森林」の抽出を行った。
森林つつじ公園整備事業	9,600	9,600	0	0	久留米市の財産である耳納山系の森林を活用し、森林の持つ保健・休養の場としての機能を最大限発揮させるために、森林つつじ公園の整備を実施。	・森林の整備 ・木造階段の整備 ・散策路の整備	
兜山森林整備事業	2,629	1,958	0	671	兜山の森林散策路の整備を実施。	・木製転落防止柵の設置（延長150m）	
合　計	**29,191**	**28,520**	**0**	**671**			

令和３年度

福岡県 久留米市（官民連携による「森林経営管理制度」の推進）

▶久留米市では、「森林経営管理制度」を活用した森林整備を推進するため、令和元年度から「森林経営管理制度推進業務」に取り組んでいます。効率的に業務を推進するため、久留米市、福岡県朝倉農林事務所、浮羽森林組合、専門コンサル会社（2社）が、それぞれの　専門性を活かし、協働で業務に取り組んでいます。

▶令和3年度は、森林資源量解析や森林所有者への意向調査及び森林整備を推進するための以下の業務に取り組みました。

- 令和２年度に取得した航空４点レーザ（県委託）による撮影データを基に森林資源量解析及び３次元データ作成・３次元ビューア導入
- 意向調査等（意向調査・督促状の送付、意向調査結果の集計・分析、所有者不明森林の調査）
- 森林経営管理制度の推進（「森林カルテ」及び「久留米市森林経営管理制度推進フロー更新図」作成等）

□　事業内容

◆森林経営管理制度の推進（森林資源の分析、意向調査の実施等）

- 令和２年度に県の事業で取得した航空４点レーザのデータの森林資源量解析を行い、３次元データの作成及び３次元ビューアの導入を行いました。
- 令和２年までに意向調査を行った地区の現地調査を行って、森林カルテを作成し、実務を通して意向調査後のフロー図を更新しました。

【事　業　費】

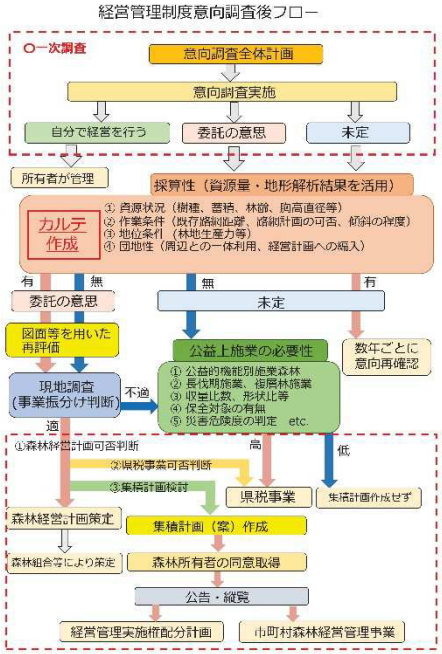
28,688千円（譲与税額28,676千円）

【実　　績】

森林資源量解析、森林カルテ作成、
３次元データ作成３次元ビューア導入、
意向調査の実施等（104件）
意向調査後フロー図の更新作成

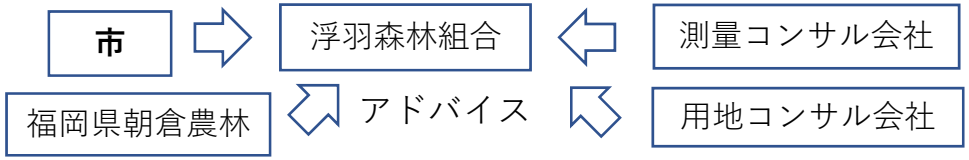


（３次元データ表示例）



□　事業推進スキーム

【久留米市森林経営管理制度推進スキーム】



【意向調査コールセンター設置】

□　工夫・留意した点

- 資源量解析データから３次元データを作成し、３次元ビューアを導入して、PC上で森林の情報を多角的に観ることを可能にした。
- 令和２年度までに意向調査を行った地域の森林の現状を数値化・定量化するため現地調査を行い「森林カルテ」を作成した。
- 意向調査後、森林整備の方針を効率的に決定するために令和２年度に作成してた「久留米市森林経営管理制度推進フロー」を実務を通して改訂した。

□　基礎データ

① 令和３年度譲与額	28,676千円
② 私有林人工林面積（※１）	1,390ha
③ 林野率（※２）	15.8％
④ 人口（※３）	304,552人
⑤ 林業就業者数（※４）	7人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３，４：「H27年国勢調査」より

R2 森林環境譲与税に関する決算状況一覧（譲与税額 28,6761千円）　久留米市

事業名	事業総額（千円）				事業内容	実 績	効 果（総括）
		うち森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
森林経営管理制度推進事業	28,688	28,676	0	0	森林経営管理法に基づく意向調査の準備作業及び意向調査を浮羽森林組合に委託して実施。また、R2年度までの意向調査対象地区の現地調査を行って森林カルテを作成した。業務の中で航空画像データから森林資源量解析を行った。	・航空画像の森林資源量解析 ・３次元データ作成 ・３次元ビューア作成 ・意向調査の実施：104件 ・意向調査コールセンター設置 ・森林整備方針の検討等	【ワンフレーズ】 ・航空画像データの森林資源量解析を行って３次元データを作成し、３次元ビューアを導入することで市内の森林現況を机上で確認することが可能となった。 ・意向調査によって、これまで把握ができなかった森林所有者の森林整備の意向を知ることができた。 ・現地調査を行って森林カルテを作成したことで、今後の方針判断材料ができた。 【詳細】 ・令和２年度に県事業で航空４点レーザで撮影取得したデータを基に森林資源量解析を行って、３次元データを作成し、机上で確認するための３次元ビューアを導入した。 ・意向調査を104件に送付したところ、約８割の返信率だった。今回の意向調査対象地区の森林所有者のうち60代以上の年齢が９割以上を占める結果となった。この状況は市全域でも大差無いと思われるため、森林所有者の高齢化が深刻な問題であることを再認識することになった。 ・令和元年度及び令和２年度に実施した意向調査対象地域の現地調査を実施して森林カルテを作成したことで、今後の森林整備の方針を検討するための判断材料が整った。 ・令和２年度に作成していた意向調査後のフロー図を令和３年度の実務の流れを通して修正して更新し、フローに従って県税を活用した森林整備に繋げた。
合　計	**28,688**	**28,676**	**0**	**0**			

令和４年度

福岡県 久留米市（官民連携による「森林経営管理制度」の推進）

▶久留米市では、「森林経営管理制度」を活用した森林整備を推進するため、令和元年度から「森林経営管理制度推進業務」に取り組んでいます。効率的に業務を推進するため、久留米市、福岡県朝倉農林事務所、浮羽森林組合、専門コンサル会社（2社）が、それぞれの　専門性を活かし、協働で業務に取り組んでいます。

▶令和４年度は、森林所有者への意向調査及び森林整備を推進するための以下の業務に取り組みました。

- 林道周辺の全周囲画像の取得
- 意向調査等（意向調査・督促状の送付、意向調査結果の集計・分析）
- 森林経営管理制度の推進（「森林カルテ」作成等）

□　事業内容

◆ 森林経営管理制度の推進（森林資源の分析、意向調査の実施等）

- 走行可能な林道の全周囲画像を取得し、机上で確認できるようにしました。
- 令和３年に意向調査を行った地区の現地調査を行って、森林カルテを作成しました。

【事　業　費】

15,983千円（譲与税額15,983千円）

【実　　績】

林道周辺全周囲画像取得、森林カルテ作成、意向調査の実施等（119件）

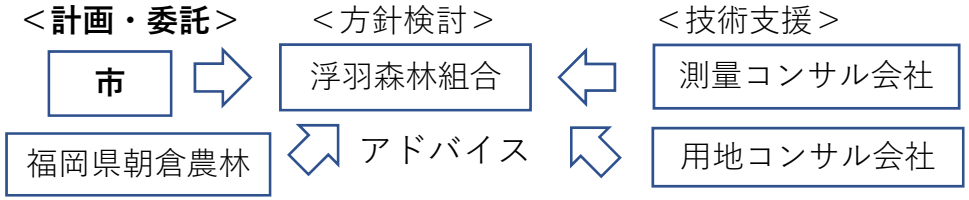




インフラや通行人に被害を及ぼす可能性がある危険木を林道全線を歩きながら判定することなく、事前に机上で候補地を絞ることで、対応が必要な危険個所を速やかに現場確認できるようになった。

□　事業推進スキーム

【久留米市森林経営管理制度推進スキーム】



【意向調査コールセンター設置】

□　工夫・留意した点

- 360度撮影カメラを搭載した自動車で林道を走行し、林道周辺の全周囲画像を取得したことで、自然災害が起きる前に伐採すべき危険木を先に机上データで候補地を絞ることで、危険木判定に要する時間を短縮することが可能となった。
- 令和３年度に意向調査を行った地域の森林の現状を数値化・定量化するため現地調査を行い「森林カルテ」を作成した。

□　基礎データ

① 令和４年度譲与額	39,092千円
② 私有林人工林面積（※１）	1,390ha
③ 林野率（※２）	15.7%
④ 人口（※３）	303,316人
⑤ 林業就業者数（※４）	20人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2020農林業センサス」より、※３，４：「R2年国勢調査」より

R4 森林環境譲与税に関する決算状況一覧（譲与税額 39,092千円）　久留米市

事業名	事業総額（千円）				事業内容	実 績	効 果（総括）
		うち森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
森林経営管理制度推進事業	9,000	9,000	0	0	森林整備を推進していくには、林道や路網の現状を把握することが不可欠である。そのため、林道等の状況を計測車両（MMS)で計測するとともに、ビュアーソフトを導入し、林道・路網の状況を把握し、整備計画の優先順位を決定する。また、災害リスクが高い箇所等の危険度を把握し、災害を未然に防ぐための整備を推進する。	・航空画像の森林資源量解析 ・３次元データ作成 ・３次元ビューア作成 ・意向調査の実施：104件 ・意向調査コールセンター設置 ・森林整備方針の検討等 総延長70,400km	【ワンフレーズ】 ・林道沿いの全周囲画像を取得したことで、執務室から林道周辺の危険木その他危険個所のアタリをつけることが可能となり、現場確認が必要な箇所の優先順位をつけることが容易になった。 ・意向調査によって、これまで把握ができなかった森林所有者の森林整備の意向を知ることができた。 ・現地調査を行って森林カルテを作成したことで、今後の方針判断材料ができた。 ・公共施設の改修を木材を使用して実施することができた。 ・森林施業に必要な林道施設の修繕することで、早期に森林整備を再開できた。 【詳細】 ・林道周辺の全周囲画像で優先的に現場を確認すべきところを判定したことで、翌年度の森林防災事業の予算編成を適正に行うことができた。また、災害で倒木や法面崩壊が生じた際に、災害前の画像データがあることで被害の程度を測る指標になった。 ・公共事業で木材の積極的使用を推進したことで、今後も木材を活用していく方針の土台となった。 ・山林の基幹となる林道を修繕整備したことで、森林整備を推進したのみならず、新たな災害被害を抑制することができた。
森林経営管理制度推進事業	6,983	6,983	0	0	森林所有者へ郵送による意向調査及び督促状の発送、意向調査結果の集計分析、不明所有者の調査、コールセンターの設置、既存事業での森林整備の同意等を森林組合に委託。	意向調査対象森林面積47.02ha	
久留米ふれあい農業公園木橋改修業務	10,516	10,516	0	0	久留米ふれあい農業公園の木橋が腐朽しているため、これを改修する業務委託。	木材使用料3.8754㎥	
市有林管理等業務	8,698	8,698	0	0	森林施業に必要な林道を適切に維持管理するための委託業務。	総延長42,050m	
林道整備事業	5,385	3,895	0	0	林道施設の安全性・健全性を確保し、適切な森林管理と災害の未然防止のため修繕等を実施。	総延長43,233m	
合　計	**40,582**	**39,092**	**0**	**0**			

令和５年度

福岡県 久留米市（森林環境譲与税活用事業）

▶久留米市では、「森林経営管理制度」を活用した森林整備を推進するため、令和元年度から「森林経営管理制度推進業務」に取り組んでいます。効率的に業務を推進するため、久留米市、福岡県朝倉農林事務所、浮羽森林組合、専門コンサル会社（2社）が、それぞれの　専門性を活かし、協働で業務に取り組んでいます。

▶令和５年度は、森林経営管理制度推進業務並びに下記の事業を実施しました。

・森林経営管理制度推進業務：意向調査等、森林カルテ作成等　・放置竹林対策事業　・山地流木撤去業務　・危険木伐採等業務　・基金積立

□　事業内容 及び 工夫・留意した点

①森林経営管理制度の推進（意向調査の実施、森林カルテ作成等）

▶令和５年度対象者に意向調査を実施し、令和４年度意向調査回答者のうち必要な箇所の現地調査を行って森林カルテを作成した。令和３年度以前の回答者に施業提案書を送付した。

【事業費】11,803千円

【実　績】意向調査の実施（129件）、森林カルテ作成

【工　夫】施業提案書に管理番号を付番することで問合せに迅速に対応することができた。

②放置竹林対策事業

▶竹粉砕機を購入し、放置竹林対策に取り組む市民団体等に貸出した。

【事業費】1,274千円

【実　績】２件

【工　夫】電子申請で申込めるようにして利便性を図った。

③山地流木撤去業務委託

▶令和５年７月の大雨で発生した土砂崩れ等による堆積流木を撤去した。

【事業費】8,520千円

【実　績】立木撤去62,150kg

【工　夫】事前に被災した山林のドローンを撮影を行ったことで優先順位を決める際の参考資料となった。

④危険木伐採等業務

▶林道周辺や住宅周辺において、豪風雨等で倒木による被害の危険性が高いと思われる箇所の危険木を事前に伐採して減災を図った。

【事業費】11,099千円

【実　績】旧久留米市３ヶ所、田主丸町１ヵ所

【工　夫】法面補修及び側溝浚渫も併せて実施することで防災効果を高めた。

《実施前》



《実施後》



⑤基金積立

▶令和６年度以降の事業に充てるために基金に積み立てた。

【事業費】6,396千円

□　基礎データ

① 令和５年度譲与額	39,092千円
② 私有林人工林面積（※１）	1,390ha
③ 林野率（※２）	15.7%
④ 人口（※３）	303,316人
⑤ 林業就業者数（※４）	20人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※２：「2020農林業センサス」より、※３，４：「R2年国勢調査」より

R5 森林環境譲与税に関する決算状況一覧（譲与税額 39,092千円）　久留米市

事業名	事業総額（千円）				事業内容	実 績	効 果（総括）
		うち森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
森林経営管理制度推進事業	11,803	11,803	0	0	市内の森林所有者を対象に、今後の森林管理に関するアンケート調査を実施し、必要に応じて現地を確認して施業の必要性有無を判断するもの。令和元年度から令和３年度までに回答があった所有者のうち、施業の必要性を判断した森林について施業提案書を送付。	・意向調査の実施：129件 ・意向調査コールセンター設置	【ワンフレーズ】 ・竹粉砕機の貸出し業務を開始したことで、市内の放置竹林対策を進めることができた。 ・令和5年7月の大雨による土砂崩れ等で退席した流木を撤去することで二次災害を未然に防ぐことができた。 ・自然災害の際に倒木の危険が高い危険木を事前に除伐することで、人的・物的被害を未然に防ぐことができた。 【詳細】 過去に意向調査を実施した森林所有者に対して施業提案を送付することができた。また、放置竹林対策事業として竹粉砕機を導入したことにより、民間の力を活用して放置竹林整備を進めることができた。 令和５年７月には大雨により甚大な被害を受けたが、流木を撤去することで二次被害を防ぐことができた。併せて今後風雨等で倒木の恐れが高い危険木を事前に除伐することで、将来の被害を減災することができた。
放置竹林対策事業	1,274	1,274	0	0	里山林の機能向上や竹林の整備等のため、移動式チッパー等機械の購入し、貸出業務を実施。貸出業務は直営。	・貸出件数　２件	
山地流木撤去業務	8,520	8,520	0	0	令和５年７月の大雨で生じた土砂崩れ等による流木を撤去して二次被害を防ぐ。	・５ヵ所実施	
危険木伐採等業務	11,099	11,099	0	0	災害に強い森林づくりを推進するために、林道周辺や住宅周辺において、豪雨、暴風等による倒木の危険性がある森林の整備を行う。	・４ヵ所実施	
基金積立	6,396	6,396	0	0	令和６年度以降に実施する事業に充てるための基金積立。	・基金残額 6,396千円	
合　計	**39,092**	**39,092**	**0**	**0**			

令和６年度

福岡県 久留米市（森林環境譲与税活用事業）

▶久留米市では、「森林経営管理制度」を活用した森林整備を推進するため、令和元年度から「森林経営管理制度推進業務」に取り組んでいます。効率的に業務を推進するため、久留米市、福岡県朝倉農林事務所、浮羽森林組合、専門コンサル会社（2社）が、それぞれの　専門性を活かし、協働で業務に取り組んでいます。

▶令和６年度は、森林経営管理制度推進業務並びに下記の事業を実施しました。

・森林経営管理制度推進業務：意向調査等、森林カルテ作成等　・放置竹林対策事業　・久留米森林つつじ公園外壁塗装分析調査業務
・兜山広場階段整備業務　・林業機械導入支援事業　・林業従事者支援事業　・危険木伐採等業務　・基金積立

□　事業内容 及び 工夫・留意した点

①森林経営管理制度の推進（意向調査の実施、森林カルテ作成等）

▶令和６年度対象者に意向調査を実施し、令和５年度意向調査回答者のうち必要な箇所の現地調査を行って森林カルテを作成した。令和４年度回答者に施業提案書を送付した。

【事業費】9,295千円
【実　績】意向調査の実施（103件）、森林カルテ作成
【工　夫】施業提案書に管理番号を付番することで問合せに迅速に対応することができた。

②林業機械導入支援事業

▶林業経営体が林業機械を導入する時の費用を補助した。

【事業費】475千円
【実　績】グラップル付きバックホウ１台導入
【工　夫】うきは市と森林面積に応じて按分して補助をした。

③林業従事者支援事業

▶林産事業組合の労災保険料及び林業経営体の林業退職金共済加入金・社会保険加入金の補助を行った。

【事業費】1,888千円
【実　績】労災保険料15名分、林退共・社会保険料16名分を補助した。
林業経営体が職員を新規雇用できた。
【工　夫】うきは市と森林面積に応じて按分して補助をした。

④危険木伐採等業務

▶林道周辺や住宅周辺において、豪風雨等で倒木による被害の危険性が高いと思われる箇所の危険木を事前に伐採して減災を図った。

【事業費】18,654千円（旧久留米市7,656千円、田主丸町10,998千円）
【実　績】旧久留米市１ヶ所、田主丸町3ヵ所
【工　夫】法面補修及び側溝浚渫も併せて実施することで防災効果を高めた。

《実施前》　《実施後》



⑤基金積立

▶令和７年度以降の事業に充てるために基金に積み立てた。

【事業費】13,183千円　※積み立て後の基金残高19,581千円（利子含む）

□　基礎データ

① 令和５年度譲与額	44,061千円
② 私有林人工林面積（※１）	1,390ha
③ 林野率（※２）	15.7%
④ 人口（※３）	303,316人
⑤ 林業就業者数（※４）	20人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2020農林業センサス」より、※３，４：「R2年国勢調査」より

R6 森林環境譲与税に関する決算状況一覧（譲与税額 44,061千円）　久留米市

事業名	事業総額（千円）				事業内容	実 績	効 果（総括）
		うち森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
森林経営管理制度推進事業	9,295	9,295	0	0	市内の森林所有者を対象に、今後の森林管理に関するアンケート調査を実施し、必要に応じて現地を確認して施業の必要性有無を判断するもの。令和４年度に回答があった所有者のうち、施業の必要性を判断した森林について施業提案書を送付。	・意向調査の実施：103件 ・意向調査コールセンター設置	【ワンフレーズ】 ・竹粉砕機の貸出業務を推進して、放置竹林対策を進めることができた。 ・林業の担い手対策として、林業機械導入支援及び林業従事者支援に係る事業を創設したことで、林業経営体が安定した雇用を継続することができた。 【詳細】 　意向調査、森林カルテ作成、施業提案を着実に実施できた。放置竹林対策事業として令和５年度に開始した竹粉砕機の貸出業務を前年度２件から８件に増やすことができて、放置竹林整備が進んだ。 　危険木伐採業務で、車両通行量や登山客通行量が多い林道３ヶ所を整備したことで、倒木等による人身事故・物損事故を未然に防ぐことができた。また、作業道を整備することで林業の推進を図ることができた。 　林業機械導入補助及び労災保険料・社会保険料の補助を行うことで、林業経営体が安定した雇用を続けることができ、新規雇用者も生まれた。
放置竹林対策事業	15	15	0	0	令和５年度に購入した竹粉砕機の直営貸出業務。譲与税は機械保険料に充当。	・貸出件数　８件	
久留米森林つつじ公園外壁塗装分析調査業務	82	82	0	0	令和７年度以降に改修工事を予定している公園の外壁にアスベストが含まれていないかを事前調査。	・アスベスト未検出	
兜山広場階段整備業務	469	469	0	0	兜山広場の階段が腐朽していたので、来場者の転倒などによる怪我や事故を未然に防止するために補修。	・防腐剤マイトレック注入丸太（巾1.5）17段整備	
林業機械導入支援事業	475	475	0	0	市内の森林を対象区域に含む森林経営計画を策定している林業経営体が林業機械を導入する費用の補助。（対象経費×10%×0.36）	・グラップル付きバックホウ１台導入	
林業従事者支援事業	1,888	1,888	0	0	一人親方等で構成される林産事業組合の労災保険料及び市内の森林を対象区域に含む森林経営計画を策定している林業経営体の林業退職金共済加入金・社会保険加入金の補助。（労災保険料：対象経費×50%×0.36　林退共・社会保険料：対象経費×25%×0.36）	・労災保険料　22名分 ・林退共　15名分 ・社会保険料　16名分	
危険木伐採等業務	18,654	18,654	0	0	災害に強い森林づくりを推進するために、林道周辺や住宅周辺において、豪雨、暴風等による倒木の危険性がある森林の整備を行う。	・４ヵ所実施（林道３路線、作業道１ヵ所）	
基金積立	13,183	13,183	0	0	令和７年度以降に実施する事業に充てるための基金積立。	・基金残額 19,581千円 （R5積立金 6,396千円＋利子 2千円）	
合　計	**44,061**	**44,061**	**0**	**0**			

令和７年度

福岡県 久留米市（森林環境譲与税活用事業）

▶久留米市では、「森林経営管理制度」を活用した森林整備を推進するため、令和元年度から「森林経営管理制度推進業務」に取り組んでいます。効率的に業務を推進するため、久留米市、福岡県朝倉農林事務所、浮羽森林組合、専門コンサル会社（2社）が、それぞれの　専門性を活かし、協働で業務に取り組んでいます。

▶令和７年度は、森林経営管理制度推進業務並びに下記の事業を実施しました。

・森林経営管理制度推進業務：意向調査、森林カルテ作成等　・放置竹林対策事業

・林業機械導入支援事業　・林業従事者支援事業　・危険木伐採等業務　・基金積立

□　事業内容 及び 工夫・留意した点

①森林経営管理制度の推進（意向調査の実施、森林カルテ作成等）

▶令和７年度対象者に意向調査を実施し、令和６年度意向調査回答者のうち必要な箇所の現地調査を行って森林カルテを作成した。令和５年度回答者に施業提案書を送付した。

【事業費】11,330千円

【実　績】意向調査の実施（140件）、森林カルテ作成

【工　夫】施業提案書に管理番号を付番することで問合せに迅速に対応することができた。

②林業機械導入支援事業

▶林業経営体が林業機械を導入する時の費用を補助した。

【事業費】208千円

【実　績】林業用四輪駆動ダンプトラック１台導入

【工　夫】うきは市と森林面積に応じて按分して補助をした。

③林業従事者支援事業

▶林産事業組合の労災保険料及び林業経営体の林業退職金共済加入金・社会保険加入金の補助を行った。

【事業費】1,973千円

【実　績】労災保険料26名分、林退共25名、社会保険料15名分を補助した。

【工　夫】うきは市と森林面積に応じて按分して補助をした。

④危険木伐採等業務

▶林道周辺や住宅周辺において、豪風雨等で倒木による被害の危険性が高いと思われる箇所の危険木を事前に伐採して減災を図った。

【事業費】25,495千円（旧久留米市10,333千円、田主丸町15,162千円）

【実　績】旧久留米市１ヶ所、田主丸町3ヵ所

【工　夫】法面補修及び側溝浚渫も併せて実施することで防災効果を高めた。

《実施前》



《実施後》



⑤基金積立

▶令和８年度以降の事業に充てるために基金に積み立てた。

【事業費】7,303千円　※積み立て後の基金残高26,927千円（利子含む）

□　基礎データ

① 令和7年度譲与額	46,429千円
② 私有林人工林面積（※１）	1,390ha
③ 林野率（※２）	15.7%
④ 人口（※３）	303,316人
⑤ 林業就業者数（※４）	20人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※２：「2020農林業センサス」より、※３，４：「R2年国勢調査」より

R7森林環境譲与税に関する決算状況一覧（譲与税額 46,429千円）　久留米市

事業名	事業総額（千円）				事業内容	実 績	効 果（総括）
		うち森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
森林経営管理制度推進事業	11,330	11,330	0	0	市内の森林所有者を対象に、今後の森林管理に関するアンケート調査を実施し、必要に応じて現地を確認して施業の必要性有無を判断するもの。令和５年度に回答があった所有者のうち、施業の必要性を判断した森林について施業提案書を送付。	・意向調査の実施：140件 ・森林カルテ作成：3.29ha ・施業提案：87件	【ワンフレーズ】 ・竹粉砕機の貸出制度の周知を図り、業務を推進して、放置竹林対策を進めることができた。 ・林業の担い手対策として、林業機械導入支援及び林業従事者支援に係る事業を継続し、林業経営体の安定した雇用に繋がっている。 【詳細】 　意向調査、森林カルテ作成、施業提案を計画的に実施できた。 　放置竹林対策事業として令和５年度に開始した竹粉砕機の貸出については、件数は増えていないものの、新たな団体の利用が増えており、放置竹林整備の取り組みが拡大している。 　危険木伐採業務では、取組みを開始した令和５年大雨以降、林道沿いにおける倒木等によるライフラインの切断や人身事故等を未然に防ぐことができている。 　林業機械の導入及び労災保険料・社会保険料の補助を行うことで、林業経営体の安定した雇用に繋がっている。
放置竹林対策事業	120	120	0	0	令和５年度に購入した竹粉砕機の直営貸出業務。譲与税は保険料及び修繕費に充当。	・貸出件数 7件	
林業機械導入支援事業	208	208	0	0	市内の森林を対象区域に含む森林経営計画を策定している林業経営体が林業機械を導入する費用の補助。（対象経費×10%×0.36）	・林業用四輪駆動ダンプトラック１台	
林業従事者支援事業	1,973	1,973	0	0	一人親方等で構成される林産事業組合の労災保険料及び市内の森林を対象区域に含む森林経営計画を策定している林業経営体の林業退職金共済加入金・社会保険加入金の補助。（労災保険料：対象経費×50%×0.36　林退共・社会保険料：対象経費×25%×0.36）	・労災保険料　26名分 ・林退共　　25名分 ・社会保険料　15名分	
危険木伐採等業務	25,495	25,495	0	0	災害に強い森林づくりを推進するために、林道周辺や住宅周辺において、豪雨、暴風等による倒木の危険性がある森林の整備を行う。	・４ヵ所実施（林道３路線、作業道１ヵ所）	
基金積立	7,303	7,303	0	0	令和８年度以降に実施する事業に充てるための基金積立。	・基金残額 26,927千円 （R7積立金 7,303千円＋利子 42千円）	
合　計	**46,429**	**46,429**	**0**	**0**			